

代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社 代表取締役 井上 明美

いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

若葉が薫る頃となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

もうすぐ楽しいゴールデンウィーク。ご予約を立てられた方も多いと思います。暦の上ではもう夏。

私達介護職は、ご利用者様のお宅へ自転車で飛び回っておりますが、早春の風に吹かれて実に気分爽快でございます。

五月晴れの空のように、皆様のお気持ちが晴れやかでありますよう、お祈り申し上げます。

サンライズの物語

星の数ほど人間はいても、
その人にとって「特別な」人…
そういう人に、私たちはなりたい。

「パーキンソン病」という難病に罹患された方のお話です。

とても気が優しく、涙もろい方で、携わっているヘルパーさんからも「〇ちゃん、」と通称で呼ばれている方です（本当は、ご利用者様に「ちゃん」付けでお呼びするのは不適切なのですが、その方に対してだけはお許しいただいています）。

もう、ずいぶん前から援助させていただいていますが、日に日に認知機能も低下してきておりました。以前携わっていたAヘルパーが、家庭の事情で一旦外れたものの、2年後にまた縁あって訪問する事になり、サービス提供責任者が引き継ぎに同行訪問した時、物語が始まります。

そのご利用者様に「このヘルパーのこと、覚えていますか？」と提供責任者が確認すると、その方は「覚えてない」と言いながら、何とAヘルパーに抱きつき、泣き出したではありませんか！

私たちは、その時確信しました。

その方は、Aヘルパーの人柄を忘れてはいなかったの

だ、と。そして、認知症とか病気とかを超越し、思いがつながっていたのだ、と。

介護職は、ご利用者様の辛い思い、悲しい思いを受け止めながら、日々仕事をしております。解決することは出来なくても、傾聴するだけで、その方の心が軽くなることもあります。それでも、時には抱えきれないほどの思いを受け止めることもあるのです。そんな時、介護職としての自分の無力さに苛まれることも、1度や2度ではありません。

大切なことは、私達介護職は、ただ「仕事」というスタンスだけでご利用者様に接してはならないということなのです。

これは、簡単なことではありません。確かに「仕事」ではありますから。

それでも、どんな些細なことでも、例えばご利用者様が靴を買いたいが決めかねている時にそのことで相談があったとしても、私たちはお気持ちに添えてあげたい。

それはなぜか・・・

その方が、星の数ほどいる知人や友人の中から、自分を選んで連絡を下さったからだと思うのです。

私達介護職には、担当しているご利用者様が何人もいらっしゃいます。しかし、ご利用者様にとっては、自分が唯一無二の介護職なのです。私たちは、常にそういう気持ちを持って対応したいと考えております。

【介護報酬改定に伴う、利用者様負担額の変更について】

本年4月より、介護保険法の改正に伴い、介護報酬が改定されました。

自己負担額についても変更となります。

ご利用者様（ご家族様）には、先般ご案内させていただいた通りであります。必要に応じて改めて担当介護支援専門員またはサービス提供責任者からご説明させていただきます。ご不明な点がございましたら、お気軽にお尋ね下さいませ。

居宅介護支援について

<居宅介護支援（Ⅰ）>

要介護1・2 1,005単位 → 1,042単位

要介護3・4・5 1,306単位 → 1,353単位

<居宅介護支援（Ⅱ）>

要介護1・2 502単位 → 521単位

要介護3・4・5 653単位 → 677単位

<居宅介護支援（Ⅲ）>

要介護1・2 301単位 → 313単位

要介護3・4・5 392単位 → 406単位

※加算等については省略

訪問介護について

<身体介護中心>

20分未満 171単位→165単位

20分以上30分未満 255単位→245単位

30分以上1時間未満 404単位→388単位

1時間以上 587単位（に1時間から計算し30分増すごとに83単位加算→564単位（同 80単位加算）

<生活援助中心>

20分以上45分未満 191単位→183単位

45分以上 236単位→225単位

<通院等乗降介助> 101単位→97単位

<介護予防訪問介護費Ⅰ> 1,226単位→1,168単位

<介護予防訪問介護費Ⅱ> 2,452単位→2,335単位

<介護予防訪問介護費Ⅲ> 3,889単位→3,704単位

NEWS 今月のニュース

作って食べて介護予防 高知市で住民らがりハビリキッチン

みんなで料理を作って食べることで健康寿命を延ばそうと、高知市一宮東町2丁目の住民が「トーマン団地がりハビリキッチン」を開いている。



活動は月2回。20人ほどで昼食を囲むにぎやかな集いが、健康と交流の輪を広げている。

主宰するのは住民組織「さくら会」。1970年代半ばに造成されたトーマン団地は住民の高齢化が進み、1人暮らしの世帯も増えている。

「さくら会」の山地ひろみ代表（65）は「元気なお年寄りを増やすことが地域の元気につながる」と、昨年11月にがりハビリキッチン始めた。

この取り組みは、高知市のNPOが考案した介護予防策。管理栄養士らの指導の下、健康チェック、調理、食事という流れで健康知識を学ぶ。

このほど団地内の集会所で開かれた集まりには、70代を中心に約20人が参加した。一人一人が健康チェックを受けながら「血圧が落ち着いてきた。うれしい」、キャベツやニンジンなどを刻みながら「春らしい色やねえ」。

食事中も「ここに来たら話し相手がおってえい」「こうやって食べたら、塩加減も食べる量も分かるね」などとにぎやかな会話が續いていた。

食べた物を毎日チェックするなど、参加者の食生活が変わってきており、山地代表は「みんなで作って、食べて、つながりも強くなっている。活動を定着させ、参加者も増やしたい」と話している。

<高知新聞 2015.3.17>

スタッフ紹介

介護員兼事務員 **井上 恵里**

<プロフィール>

平成25年11月入社

出身地: 東京都

血液型: A型

資格: 介護職員初任者研修修了



<自己紹介>

未経験の状態での入社し、毎日新しいことに遭遇し悪戦苦闘しております。

周囲の皆様のおかげで、少しずつではありますが前進しており、またやりがいも感じはじめております。

今後も、介護職として勇往邁進していきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

（代表・井上より）

各利用者様のスケジュール管理（メールや電話で連絡）する仕事をメインでお願いしております。

最近では資格を生かし、介護員として現場にも入っております。皆様方からのご指導をいただければと思っておりますので、よろしくお願い致します。

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>